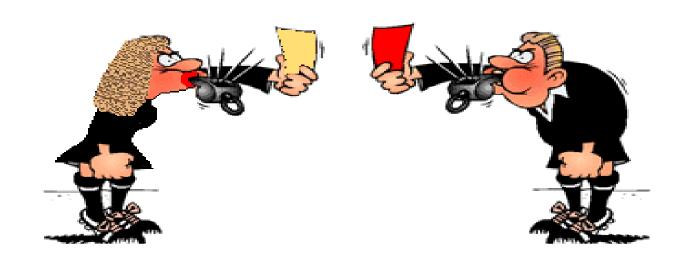
## 第53回九州一般ハンドボール選手権大会兼 第47回九州女子クラブハンドボール選手権大会

# 審判会議資料



平成29年5月12日(金) 16:00~

沖縄県体育協会会議室

九州ハンドボール協会 沖縄県ハンドボール協会

## レフェリーの使命とは…



## チーム・プレーヤーに トレーニングの成果を存分に発揮させる

~コート内と交代地域の秩序を保つ~

## 使命を果たすために

- 1 競技規則に関する正しい知識に裏打ちされた判定
  - ○これまでの競技規則改定の流れをつかんでおく



- 2010 年競技規則改正
- 2011 年競技規則の解釈に関する通達
- 2011 年競技規則の解釈に関する通達 2012 年改訂版
- 2016年競技規則改正

「競技規則運用に関するガイドライン」の新設 ・・・・これまでの通達の整理



#### 目的

- ☆ シンプルに分かりやすく
- ☆ 進歩する技術・戦術に適応した
- ☆ 多くの判断基準/事例を示す

## 『コート上では攻撃側も防御側も

同等の可能性と権利を有している』

~攻撃有利の展開になってはいないか???~

<改正のポイント>

罰則の適用 攻撃側の違反 7 m スローの判定 アドバンテージルール

パッシブプレー ウイングポジションでの攻防 ピボットポジションでの攻防

### 2 ラフプレーとスポーツマンシップに反する行為を排除する

### ハンドボールの競技規則の精神は、相手の身体を傷つけることなく、 チームに本来のプレーを行う正当なチャンスを与えることである。

レフェリーハンドブック 2015『ハンドボールの概念』から抜粋

- ○競技規則は罰するためにあるのではなく, ハンドボールが ハンドボールであるために存在する。
- RC はハンドボールがスポーツであるための生命線。 失格 に値する行為に対してレフェリーが RC を出すのをためら えば,ハンドボールはスポーツではなくなってしまう。 しかし…



#### 3 妥当性と信頼性のある判定

- ○それぞれのカテゴリーに相応しい競技運営を心掛ける。
- ○レフェリーとしての基本事項の励行。
- ○求められている物を知り、それを発揮する。
- ○それぞれのカテゴリーに相応しい競技運営を心掛ける。

小学生には小学生の…

中学生には中学生の…

トップリーグにはトップリーグの…

それぞれの目線に立った競技運営を

- ・・・「教育的配慮」という名のもとに、ルールを変えてはいけない
- ・・・「教育的配慮」はどこまでか

#### **<ゲームをコントロール???>**

- ・後半になってリードを広げると必ず退場や7mを取られる。
- ・流れをつかむとレフェリーが介入してくる。
- ・レフェリーのために試合をやってるんじゃないぞ。
- ・あんな笛吹かれたら中学生がかわいそう。
- ・それは中東の笛か!観ていて不愉快!

「監督・コーチ・観客・大会関係者の声」



#### ○ レフェリーとしての基本事項の励行





役割分担. 領域分担 正しいジェスチャー チームタイムアウト中の位置 など

決められた時間内の得点を争う競技の特性上, 『時間の管理』と『得点の管理』は厳密に行う。 疑義があるときには,競技時間を中断し確認を行う。



#### ○求められている物を知り, それを発揮する。

- ・ゲームの流れを組み、それに協力することがレフェリーの役割
- ・流れを作るのが、決してレフェリーであってはならない

## 4 心身ともにコンディションを整える

リラックスと集中をうまく使い分けて、各自最良のコンディションで臨む。









上記の4つの項目が、大会・試合の中で実践されるためには・・・・

## 「レフェリーとしての準備」が不可欠

### 1 レフェリングに関する準備

- ○審判法の理解(試合前の任務、試合中の任務、試 合後の任務)
- ○競技規則の理解(選手・チーム役員に超えられて はならない)
- ○試合における共同作業(オフィシャル、TD、大会役員、補助員、モップ 等)



#### 2 身体的準備

- ○レフェリーも選手と同様、「アスリート」である
- ○大会に向けて体調の調整も必要



#### 3 精神的準備

- ○いざ試合になれば、経験が豊富だろうが、浅かろうが、国際級だろうが D 級だろうが関係なく「レフェリー」として存在する
- ○大会までの上記「レフェリングに関する準備」「身体的準備」が、精神的余裕につ ながる

### 4 大会当日·大会期間

- ○競技運営方法の確認
  - ・競技時間 延長 登録選手 選手の確認方法 選手入場 使用球 コートゴール タイマー 終了合図 退場タイマー 負傷者カード ・・・・
  - ・大会ごとに異なるので、その都度確認を
- ○ペアでの確認
  - ・役割分担 通信機器の使用方法
- ○試合後の反省
  - ・ペア間で レフェリー間で 審判責任者と



## 直前の準備 (今年度からすべての大会, すべての試合で実行)



### 試合前のウォーミングアップを入念に行う

トスの後、プレーヤーと共にコート上で

最良のコンディションで臨むための、 最後のチャンス

レフェリーの本気度をアピールするための、 最高のチャンス



22/37

### 直前の準備 (今年度からすべての大会, すべての試合で実行)



## オフィシャル席との打ち合わせ

レフェリーは、オフィシャル席と密接な連携を保たなければならない。

各種合図の相互確認の方法はもちろんの こと, 交代地域規定の遵守についてもオフィ シャル席に協力を依頼する。

トラブルを未然に防ぐことにも繋がる。



23/37

**最後に** 6

1 様々な大会で多くのゲームをレフェリングすれば、必ず吹き損じ や失敗がある。

しかし、その失敗に対して「いつもは一緒に吹いていないから」、「仕事が忙しくて準備不足だから」というのは言い訳にならず、チームやプレーヤーは常に厳しいトレーニングを積んでいることを決して忘れてはならない。

2 レフェリーは常に周囲から注目されていることに気づいていますか?



強豪同士の対戦

注目の対戦カード





## 誰が吹くの?

ゲーム展開

特に、笛を鳴らしたとき、競技が中断しているときには、 すべての人の視線がレフェリーに注がれる。 キャリアを積めば積むほどその注目度は高まる。

3 レフェリーは、それぞれの 『個性』や『ハンドボール観』を持っている。



しかし、それらは競技規則およびレフェリングに関する指導の内容から外れないように表現されなければならない。さらには、レフェリーの個性やハンドボール観ばかりが先行する主観ではなく、妥当性・信頼性のある判定や競技運営をしなければならない。

players First!



4 競技の担当が決まれば、たとえそれが都道府県大会であっても、全日本大会であっても、 小学生であっても、社会人・日本リーグであっても、大会に向けてレフェリーとしての準備を怠 ることなく...

大会期間になったら、会場入りしたら、あるいはコートに立ったら、レフェリーとしてのプロ意識を持ち、始めから終わりまで丁寧かつ誠実に取り組み、大会を取り巻くすべての人に、「そのとおり!」「それが正しい!」と言わせるような判定や、競技運営はもちろんのこと、レフェリーとして相応しい行動や言動を心掛けることのできるレフェリーであり、すべてのレフェリーの良き手

#### 5 行動模範について

#### 行動規範について

本となるよう期待します。



競技場の内外を問わず、常にレフェリーは注目されていることを忘れず、 上級レフェリーに相応しい言動・行動を心掛ける。

#### 具体的には.

- ? 競技会場(コートも含む)では決して目立たず、しかし、コート上では美しく
- ? 試合を観るときには一ヶ所で(判定に対して反応しない)
- ? チームとの接触は極力避け, 所属する都道府県のチームであっても, 応援などは慎む

レフェリーは、あくまでも中立な立場、立ち位置

#### 31/37

#### 行動規範について



コート内外でチーム役員やプレーヤーが、著しくあるいは極めてスポーツマンシップに反する行為を行えば、レッドカードが与えられる。



競技会場外であっても、レフェリーが 社会人としてあまりにも恥ずべき行 為を行えば? ,

社会からレッドカードを突き付けられることになる!





32/37

#### 行動規範について



また、SNS(ブログを含む)を利用して情報発信する場合、内容によっては 大きな誤解を招くことになりかねないので細心の注意を払う。



☆ご一読ありがとうございました。ご多忙中にもかかわらず大会への参加に感謝いたしま す。大会に向けての準備をよろしくお願いします。

2017年度の競技規則書が日本協会 HP に掲載されています。内容を確認の上、特に「競技規則変更に関するガイドライン」については熟読、理解をお願いします。

大会においては、競技委員長の指導・指示の元で大会審判団として任務を遂行します。 地元役員の協力なしには遂行できませんので、ご理解のほどよろしくお願いします。

本年度より、九州ブロック審判長を仰せつかりました。過去の先輩方の思いを大切に、 九州より全国で活躍できるチーム、レフェリーの育成に努めていければと思っています。 時代の流れを十分に活用し、審判会議の資料についても事前にデータで送信させていただ くことによって、地元協会審判長の負担軽減、レフェリーの準備およびレフェリー仲間と の共有が図れればと思っています。様々な場面で十分に活用されてください。

<u>この資料は、プリントアウトまたはタブレット等にダウンロードいただき、大会への持</u>参をお願いします。

今後、ご意見、ご質問等ありましたら、遠慮なく下記連絡先をご利用ください。可能な限り対応させていただきます。

九州ブロック審判長

福島亮一 (公財) 日本ハンドボール協会審判委員会 競技規則研究委員会・審判指導委員会

TEL 090-9595-3978 携帯 mail futklun-1212-@ezweb.ne.jp E-mail futkun1212jp@yahoo.co.jp